



# YMCA

## 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

月刊 TheYMCA 付録  
編集・発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
大阪青年 発行：錦織一郎 編集：大阪YMCA広報室  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

# 大阪青年

2006 Apr. 4

No. 583



## YMCA幼稚園

しっかりと大地に

# のびのび「根を育む」

幼稚園を囲む樹木や草花は、寒さ厳しい冬を耐え凌ぎ、春の陽射しとともに愛らしい芽を出し、小さな花が訪れる人を和ませます。生命の息吹きには、まるで奇跡をみるような感動を覚えます。

幼稚園では、初めての園生活に期待に心を弾ませている子どもたちや、心配な思いを募らせ、心の準備をされている保護者の皆様の気持ちに配慮するために、「受け入れる」準備を整えています。

花々の美しさを支える力は根にあります。根は土の下に隠れて見えませんが、根の状態が葉や花や実に現れます。たつぷりと養分が注がれ、のびのびと育った根は、たとえ枝が折れても、花がちぎれても、実が吹きとばされても、いつかまたその傷を癒して成長します。しかし、根の育ちが不十分であれば、一時的に美しくても永くは続きません。見える部分に心を奪われて、見えない部分をないがしろにしていると取り返しのでないことになってしまいます。

見えない部分を大切にすること、これがキリスト教保育の根幹です。YMCA幼稚園が大切に考え、実践している事です。幼児教育は、いわば人間の根を育てることです。人格の基本となるその人の心、感性、持ち味を大切にすることです。

のびのびと豊かに根を育てることが、見える部分を生かし支える力となり、思いやりを大切に、人間形成に大きく影響するのです。しっかりと大地に根付くまで、私たちは、責任を持って育て、すてきな根となるように成長を見守り、神様に生かされている喜びを感じたいと思います。

YMCA松尾台幼稚園

園長 原 寛

## 地の塩

▼春は出会いの季節である。学校で、職場で、サークルで様々な出会いが繰り広げられる。出会いには、人との出会い、出来事との出会い、知識との出会い、そして思想との出会い等があるが、なかでも人との出会いは人生において意義深い。M・ブーバーは「人生は出会いである」と言った▼「人は出会うから挨拶するのではない。挨拶するから出会うのである」という言葉がある。確かに、数十人と、顔を合わせてすれ違っても、そこには何の感動もない。挨拶の挨拶の字も挨拶の字も、ともに押し開くといった意味を持つている。自ら心を開いて働きかける時、新しい出会いが起る。新しい生き方が始まる▼心を開いて関わるの反対は、心を閉ざして避けるである。昨今の世相にあつては、子どもたちには「知らない人と口をきいてはいけないよ」と教え、高齢者には「かかってくる電話に気を付けて」と言わなければならぬ現実がある。しかし、人生が出会いであるとすれば、出会いを避けた分だけ人生を貧しくしていることにも気づきたい▼『大阪YMCAの使命』には、「すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見い出すための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します」と記されている。飾ることなく、構えることなく、隠すことなく、安心してありのままの自分を開示できる場として大阪YMCAを大切にしたい▼ヤスパースは「真の出会いには相互創造をもたらす」と言っている。(K)